

防止隊だより 令和6年7月号

特集：スコシズツマーケットへの出店から考える、家の明かりとゴミ捨て
おしらせ：熱中症対策標語コンテストに協力します

特集：スコシズツマーケットへの出店から考える、家の明かりとゴミ出し

お家に持続可能な明かりを灯そう！ LED&リサイクルキャンドルづくりワークショップ

私たち防止隊は2024年3月24日（日）、岡崎市籠田公園で開催されたスコシズツマーケットに出店しました。賛助会員「アイシン技術会」のサステナビリティ推進委員会のみなさんと連携して、手回し発電器を使った「LEDの省エネ・省CO2効果の体験」と、岡崎市で捨てられた廃びんや給食センターの廃油、材木を活かした「リサイクルキャンドルづくりワークショップ」を実施。当日はあいにくの雨模様でしたが、おかげさまで大人・子ども合わせて22名の参加者を迎えられました！



今回の出店内容は、私たちにとって非常に身近な「明かりをつける」「ゴミを捨てる」といった日々の行いが、地球温暖化防止対策になるということです。さらには私たちの暮らし方自体を、より幅広く持続可能な状態へ見直すことにもつながります。

そこで本号では、「明かりをつける」「ゴミを捨てる」という日々の行いを通じて、より具体的に「LEDへの切り替え」や「ゴミを資源に変える分別」といったゼロカーボンアクションをご紹介。脱炭素で新たな暮らしを実現するデコ活を一緒に考えましょう！

明かりをつける——LED への切り替えが生む価値は？ 省エネ・省 CO2・節約・快適・水銀を含まない

すでに私たちの生活の中でもよく使われる LED という言葉ですが、正式名称は Light Emitting Diode の頭文字を取ったもので、「光る半導体」の略称です。寿命が長く、少ない消費電力で明るく点灯します。消費電力が少ないということは、それだけ排出する CO2 も少なくなるし、電気代も安くなるためいいことづくめです。

ご家庭に切り替え忘れはありませんか？

「もうとっくの昔に蛍光灯から LED に切り替えてるよー」という方も多いことでしょう。もともと湿気や熱には弱いのですが、近頃は専用の LED 商品も出て来ました。お風呂場のライトなどは切り替え忘れやすいので、確認してみるのもオススメです。一般的な白熱電球と比べると LED 電球は約 8 割も消費電力が少ないので、電気代の節約に直結しますよ！

さらに多彩な発色やデザイン、明るさが実現できるので、場所に合わせた照明を使えば、より快適な暮らしも演出できます。新しい LED 照明の取り付け方の注意などは、ホームセンターや電気屋さんで聞いてみましょう。環境省・経済産業省が推進する「あかり未来計画」のウェブサイトも、いろいろと参考になりますよ！



あかり
未来計画

明かりのある暮らしを続けるために

また LED は、蛍光管に使われる水銀を含みません。そのため岡崎市では、指定袋に入る大きさの LED は、白熱電球などと同様に不燃ごみとして処理できます。40W 以下の蛍光管は、回収協力店に出してリサイクルすることが求められています。

ただ単に切り替えの価値だけを見ていると、埋め立て地不足や有害物質による環境汚染の問題がなかなか見えてこないものです。「明かりのある暮らし」を私たちが続けるために、省エネ・CO2 なエネルギーはもちろん、ごみをどう出すかにも気を払いたいものです。

ごみを捨てる——ごみを資源に変える分別 みんなで分別できれば、CO2 の排出量も抑えられる

私たちの暮らしに、ごみはつきものです。ごみステーションや収集車、リサイクル工場、処分場といったシステムと従事者がいてくれるから、清潔な暮らしが保たれます。

しかしそのシステムは、私たちの分別があってこそ回るものです。現代のごみはプラスチック、ガラス、鉄、銅、アルミ、植物などの多種多様な原料で構成されています。これらを資源として再活用するための手間を、全てシステムに押し付けると膨大なコストが一極集中してしまうでしょう。分別をみんなで少しずつ分担することで、より確実にごみを資源に変えられます。指定袋や正しい分別を守れば、モバイルバッテリーやガス缶による発火事故を防ぎ、収集もしやすくなるため、従事者がより安心・安全に働けます。今年の 1 月には岡崎市のごみ分別の仕方も変わりましたので、ぜひご確認ください。



岡崎市の
ごみ分別

目に見えないCO2 も出さないようになる

ここでさらに考えてみたいのが、化石燃料を使ってごみを燃やす場合です。もし分別をせずに「全部燃やせばいい」となると、大量のCO2が排出されます。資源を再利用できないためにどこからさらに資源を持ってこなければいけません。その分だけCO2も排出されてしまいます。ごみの分別を行えば、資源の再活用が進むだけではなく、全体的なCO2の排出量も下がっていくのです。

それぞれの町内のごみステーション以外にも持ち込みができる施設がいくつかあります。中でも稲熊町にある「総合資源ステーションりすた稲熊」は、市内から発生した全ての資源物を、毎日回収しています。みんなで分別すれば清潔かつ安全で、環境にもやさしい町になるのです。



もう一歩進んだごみの活用

スコシズツマーケットではキャンドルを家に持って帰ってもらって、持続可能な明かりに想いをはせてもらえるよう、私たちもさまざまな準備を行い、今回ご紹介したような多くの学びを得られました。ごみの活用には、有形無形のさまざまな形があると実感します。たとえばモノを大切に長く使えるよう、いらないものをリユースすることも大切な取り組みです。これまでご紹介した分別システムとは違う仕組みで、ごみに特別な処理を加えずにすむので、より省CO2になりえるでしょう。岡崎市は民間事業者と協定を結んで、リユース促進を行っています。量り売りできるお店やユーズドショップで購入する、生ごみコンポストを利用するなど、そもそも「ごみを減らす」選択もあります。



岡崎市の
リユース

最後に、ワークショップの廃びん提供でもお世話になった、リサイクル施設内にある「岡崎ガラス工房 葵」をご紹介します。この工房は1983年、リサイクルという言葉がまだ身近ではなかったところに誕生。資源を大切にする気持ちをガラス工芸の魅力とともに発信し続けています。



岡崎ガラ
ス工房葵

家庭で分別された空きびんを主原料にした「リサイクルガラス」を使って、ガラス工芸の体験講座や制作販売をしています。若いガラス工芸作家も育てながら、廃品に新たな息吹を吹き込んで再利用するアップサイクルの実践に取り組んでいるといえるでしょう。ぜひみなさんも家の中を見渡して、できるところから始めてみてくださいね！



お知らせ①：岡崎市地球温暖化防止隊、今後のイベント開催予定スケジュール☀

イベント名	日程	内容	実施部会
MMB！岡崎「路線バス の旅で里山散策」	10月6日(日) 8:30 ～ 11:30	東岡崎か中央総合公園バス停に集合して、中央総合公園の 自然観察の里を経て小美観音までの里山を歩きます。行程 約2キロで、解散場所は小美観音前バス停です。詳しくは 市政だより9月1日号に掲載できるよう調整中です。	交通委員会
再発見！ 環境フォトコンテスト 2024	9月30日(月) まで 募集中	岡崎市内の「緑」や「水辺」などの自然を題材とし、将来 に残したい「いいところ」や今すぐ改善したい「わるいと ころ」の写真作品を募集しています。優秀作品には、賞状 とQ.U.Oカードを贈呈予定です。奮ってご応募ください。 (詳細はホームページをご覧ください。)	自然委員会

* 申込方法など詳しい情報は、市政だよりもしくは岡崎市地球温暖化防止隊事務局までご連絡を♪

お知らせ②：岡崎市地球温暖化防止隊、各種会議開催予定日

役員会：代表・副代表・部会長・会計・監事・アドバイザー

日付	時間	開催場所
7月11日(木)	19時～21時	ZOOM オンライン開催

部会・委員会

部会名・委員会名	日付	時間	開催場所
交通委員会	7月1日(月)	19時半より開催	図書館交流プラザりぶら
広報部会	7月11日(木)	19時より開催	ZOOM オンライン開催
自然委員会	7月11日(木)	19時より開催	ZOOM オンライン開催

【お知らせ：熱中症対策標語コンテストに協力します】

今60代の方は、自分が子どもの頃にここまで暑かった
でしょうか？ 当時から「熱射病に気を付けよう」と言わ
れましたが、現在では熱中症による人の健康に係る重大な被
害が生じる恐れが高まっています。特に子どもと高齢者は
気をつけなければなりません。

こうした中、岡崎市と大塚製薬の共催で市内の小学3～
6年生を対象に熱中症対策標語コンテストを開催すること
になりました。本会も地球温暖化防止隊賞を提供し、協力
しております。(株)ドミー、イオンモール岡崎、イオンリ
テール(株)東海カンパニー、ウエルシア薬局(株)、(株)
ファミリーマート様と並んで、岡崎市地球温暖化防止隊が
協力団体に並んで記載されています。

学校を通して、お子さんにチラシを配布させていただ
いていますが、ご家族で取り組んでいる方が見えたら、
ぜひお声がけしていただきますようお願いします。



岡崎市地球温暖化防止隊事務局

【岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課内】

TEL：0564-23-6786 FAX：0564-23-6536

Eメール ondankataisaku@city.okazaki.lg.jp



2024年6月発行